

全日本 語りネットワーク ニュース

全日本語りネットワーク

〒376-0006 群馬県桐生市新宿 1-4-33

Tel0277-43-8140 振替 00130-2-114808

<http://members.aol.com/Japankatarinet/>

H.K 様

「語りの祭り」担当 井上幸弘

明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。今年もよろしくお願いたします。

さて、昨年 11 月に「語りの小祭り」を開催しました。「語りの祭り」には、全国各地から語りに関する方々がたくさん参加され、お話を語り、聞き、楽しい交流をしていますが、時間を十分とることが出来ず交流をさらに深めたいとの要望も多かったので、ネットワークの活動の中で初めて実施しました。会場は、第 5 回全日本語りの祭りの会場ともなった桐生市有鄰館。2 日間でのべ 90 名と思っほどの参加者はありませんでしたが、たつぷりとお話が聞け、宿泊先のこの森桐生国際ホテルでは、じっくりと交流を深めることができました。密度の濃い 2 日間となりました。

今年は早いもので第 8 回の全日本語りの祭りの開催となります。会場は福島県の会津若松市です。高橋京子開催地実行委員長を先頭に、全国からのお客様をお迎えする準備を着々と進めております。まもなく案内のチラシができあがります。H.K さんにも送りますので、10 月の開催ですが周りの人には是非参加くださいますよう、今から宣伝をよろしくお願いたします。

ところで、前回の修善寺の会場にて夜遅くまで、「語り」のあり方について H.K さんとお話をしたことが思い浮かんできます。語りスタイルはお互い違っても、子どもたちにお話のすばらしさを是非とも伝えたいという思いは同じで、その思いを届けるためにはどうしたらよいか、ああだこうだと遅くまでお話させていただきました。

学校にてかけてお話を語るとき、楽しいだけでいいのか、子どもが喜ばばどんなことをやってもいいのか、授業時間をわざわざさいてくださるのだから、言葉が心にしみこむようなお話をしなければ意味がないのでないか。酒の勢いで生意気なことを言ったりして申し訳ありません。ただ、子どもにお話を語ったり絵本の読み聞かせを行うとき、あまりにも安易に「子どもが喜ぶもの」に流されていることが気になったものですから、酔いにまかせて言ったのでした。

けれども誤解しないでください。「語りの祭り」は語りを一つの形にはめこむために行うものではありませんし、こう語るべきだと決める場でもありません。さまざまな語りの存在を認めあい、交流する場です。こんなことは H.K さんは百も承知のことですよ。失礼いたしました。ともかく今度の会津若松大会もたくさんの参加者が集まり、おかげさですが日本の語り文化の豊かさが実感できるものになればいいと思っています。H.K さん、会津若松でお目にかかれるのを楽しみにしております。

2006 年元旦

総会とお話会

2006 年 5 月 14 日 (日)

午後 1 時 30 分～4 時 30 分

会場 東京都 (場所 未定)

※ 詳細は次号でお知らせいたします